



支援事業で営農振興に努めています

当JAは、集落営農組織(担い手)育成や地域農業の生産・保全・維持を目的に、農業生産につながるさまざまな支援事業(新農業生産振興育成支援事業)に取り組み、集落営農組合や認定農業者の方などの支援・助成に努めています。昨年度の支援実績は1,542万円(支援対象:65件)となり、今年度は3,000万円の支援を計画しています。農業機械の購入やパイプハウス導入などをご検討の方は、お近くの営農センターまで気軽にご相談ください。

新農業生産振興育成支援事業

対象事業	対象機具・資材	助成内容	平成30年度実績	令和元年度計画
集落営農組合(担い手)支援	農業生産等に必要 な農業機械	事業費から他の助成 金等を差し引きた金額 (自己負担額)の 10%以内	1,301万円 (45件)	3,000万円
営農振興施設等に関 わる農家支援	簡易パイプハウス	自己負担額の20% 以内(上限100万円)	107万円 (5件)	
農区(集落)単位と する鳥獣害対策事 業支援(行政補助事 業に限る)	鳥獣害対策に対す る防護資材および 設置に伴う費用	行政事業の補助事 業費に対する受益 者(農区)負担額の 10%以内	50万円 (11件)	
農業施設貸与事業 等リース事業支援	リース事業対象とな る園芸施設・農機具等	自己負担額の10% 以内(上限100万円)	84万円 (4件)	
合計			1,542万円 (65件)	



農作業ひとくちメモ

ナメクジやカタツムリの対策

ナメクジやカタツムリの仲間は、日中は石や落ち葉の下など湿気が多く日光の当たらない場所に隠れており、夜になるとはい出してくて、植物を食べ荒らします。特にやわらかな若い葉や花卉、果実を好み、不規則なかじり跡を残します。

食害の対策として、畝間や株間に、誘引殺虫剤を数粒ずつ点々と置くことが効果的です。雨が降った後の畑が湿っているときや夕方ごろに活動が活発になるので、このタイミングで薬剤をまくようにすると、効果が高まります。隠れ場所である石や落ち葉を取り除いて小まめに観察し、見つけたときは捕殺しましょう。

